



大報 おおおじめ

昭和49年12月15日 №. 263

編集と 鹿児島県肝属郡大根占町役場
発行 総務課文書広報係
☎ (09942) 2-0511~0515
印刷 新生社印刷 ☎ (09944) 3-2238

町の 昭和49年12月1日現在推計人口
人口 男 4,511人 計 9,986人
女 5,425人
前月より2人増



年間を通じ、精魂こめて作り出された葉たばこ、この日の収納でその成果が決まる。
耕作者の方々には、緊張せざるを得ないときである。
(宿利原地区の収納から)

たばこ出し

- ▽「ババン、ババン、ババン、」とたばこ収納所で花火が上がった。最初の頃はなんの合図の花火だろうと首をかしげた。よく聴いてみたらなんと葉たばこ収納で好成绩が出たときの公表であった。
- ▽県下でも品質面では屈指の産地、本町の葉たばこ収納がさる十一月七日から二十二日まで、十六日間行なわれた。
- ▽ことしからは専売公社の買入れ価格も四十二・一二パーセント引き上げられたことや、豊作であったこともあり、町内から反当り四十五万円以上が3人、総額で五百万円以上が4人も出たという。
- ▽葉たばこは永い間、町内の農業生産高のトップを堅持してきた。ところがキヌザヤ早堀バレイショの出現で年々耕作者が減り、ここ数年間は畜産、園芸に次ぐ作目となっていた。しかし、ことしは園芸を上まわるとも予想されている。
- ▽一時は、耕作者が五百人栽培面積百三十ヘクタールと普及していたが、現在では耕作者百八十二人、栽培面積百三十ヘクタールと減っている。
- ▽作目の中でも最も多くの労力が必要とし、多額の施設資材を投入しなければならなかったたばこ作も、今日では大規模耕作者が多いことが物語るように、労力面は半減したといってもよい。
- ▽育苗は共同、調理区分は五階級、結束も不必要、乾燥作業もバーナーでと昔からすると大きく変わってきている。
- ▽葉たばこにはほとんど豊作貧乏はない。最近のような経済不況下には最も適した安定作目といえる。これまでは、他の作目に比べ多少労働生産性が低いとも言われていたが、買入れ価格の大幅値上げで、このことは解消されたといってもよい。
- ▽専売公社もたばこの需要に対応するため、新しい耕作者を募っている。労力と土地条件に恵まれた方は一考したいときでもある。
- ▽ことしの成績
- | | |
|--------|-----------|
| 総額 | 四億五千一百万円。 |
| 反当平均量目 | 二十七・五キロ。 |
| 反当平均価格 | 三十四万八千円。 |
- 12月 は飲酒 運転 追放 月間
「飲酒運転はしない、させない」を徹底しよう

療養費前年度より

三十四・一パーセント増加

昭和四十八年度国保事業
特別会計決算

さけよう乱診・乱療

昭和四十八年度の国民健康保険事業特別会計の決算がまとまりました。それによりますと、加入者数は昭和四十九年三月末日現在七千八百七十九人で町全人口の約七十四パーセントが加入していることとなります。

歳入総額一億五千一百九十三万四千三百七十七円、歳入歳出差引額八百十六万四千五百三十九円と、この剰余金八百十六万四千五百三十九円を見れば、前年度からの繰越金を除いた昭和四十八年度だけの歳入と歳出だけの決算をしますと、わずかに二百四十八万円の黒字という結果になっています。

この額についても、国庫補助金一百二十七万円を昭和四十九年度で返納することになっていますので、実質一百二十一万円ということになります。

昭和四十八年度は、当初から療養費の増加が見込まれ、保険税の均等割額と平等割額の改正が行なわれたところでしたが、これではどうか赤字

を免れたといえるようです。一方、療養費の状況は昨年度間の療養費総額一億八千二百六十四万四千三百七十九円と、これを一人当たりとすると二万二千八百六十九円と、昭和四十七年度の一万七千五百三十三円に比べ実に三十四・一パーセントの増加率となっています。

これは、昭和四十七年度の対前年度増加率二十八・八パーセントに比べ五・三パーセントと高く、昨年度から開始された老人医療の無料化による受診率の増加や医療費の値上げが影響しているようです。

そこで、この事業の概要をみんなが知り、保険税と療養費の関係を充分認識しておくために、療養費の負担区分や療養費の状況はどうなっているかを再考して見ましょう。

費用の負担区分

まず、費用の負担区分は原則的には、国が四割、療養を受けた被保険者（加入者とその扶養者）が三割、残り三割を町が負担するというしくみになっています。

国の四割負担分は、一年間の療養費総額に対して補助金として町に支給されています。

被保険者の三割についてはみなさんが病院の窓口で支払うお金です。

町が負担する三割は、加入者であるみなさんが納める税金を財源としています。

以上のようなことからわかるように、被保険者であるみなさんの方の受診回数過多、療養費用の増加は、直接町負担すなわち、保険税にはね返ってくるわけです。

療養費の状況

次に、療養費の状況ですが昭和四十八年度からは老人医療の無料化が実施されたこととあわせて、非常に増加し、これに医療費の値上がりも加わり、財政を圧迫しています。

昭和四十九年度にご承知のとおり、大巾な税改正が行なわれましたが、これも近年の療養費増加に対処するために余儀なくされたものです。

その状況は別図のとおりとなっています。

いずれにいたしましても、低い税金で健康が保障されることは、だれもが望むところだと思います。

保険税と療養費の増加状況

区分	46年度	47年度	48年度	49年度
	指数	指数	指数	指数
一人当たり保険税額	2.942 100.00	3.456 117.54	4.343 147.62	7.352 249.90
一人当たり療養費	13.232 100.00	17.053 128.88	22.869 172.83	30.898 233.51
一人当たり療養費町負担額	9.221 100.00	11.897 129.02	15.959 173.07	21.666 234.96
老人医療費一人当たり療養費			69.047 100.00	97.870 141.74
老人医療費一人当たり療養費町負担額			48.310 100.00	68.508 141.81



意見を聴く知事

団地化した
キヌザヤ

に感激

知事農家と話し合う

県民の意見を聴き、県政に取り入れて行こうとする十二月四日日本町で知事と語る会が行なわれました。

当日は知事をはじめ、農政部長、畜産課長、鹿屋農林事務所長などが来町、神川城部落の今熊俊郎さん（二五才）宅で、神川城畜産グループ約二十人と「庭先対話」ということで、庭にゴザを敷いてひざを合せての対話を、次いで町輸送園芸振興会員約二十人と天候の都合で、土木事務所対話をいたしました。

今回の対話の中では、購入飼料の高騰の問題、子牛安定

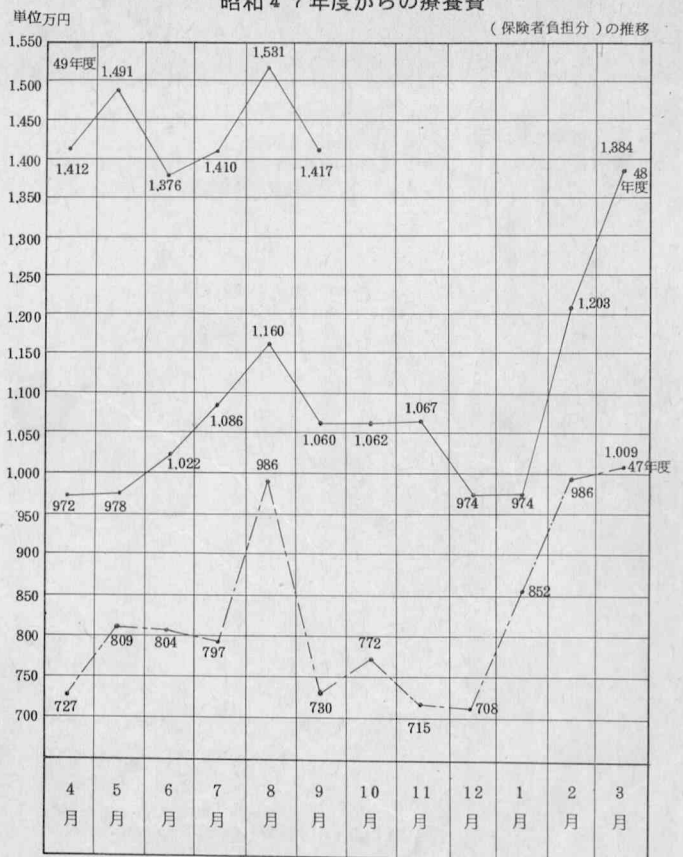
基金の保障額の問題、種牛の問題などが畜産グループとの間では行なわれ、一方園芸グループとの対話では、流通機構の問題、使用後のビニールの問題、税金の問題などについて行なわれました。

対話の中で知事は、農家の生活安定のために今後も努力しますので、みなさん自身も大いに勉強してくださいと、力説されておられました。

また、町輸送園芸振興会長松元清二さん（六四才）のキヌザヤエンドウの栽培状況の説明を、土木事務所の屋上で馬場城元水田を見渡しながら聴き、「こんなにすばらしい団地は県下にもそうないですよ」と非常に感激されて、これからの農作をどんどん伸ばしてくださいと励ましておられました。

昭和47年度からの療養費

(保険者負担分)の推移



大隅地域開発問題

大根占町は農業を主体に 開発は住民の合意で

大隅地域の開発をどのようにすすめるか、ということをもぐっていろんな動きがあることが報道されています。町でも、この問題や、町として今後をどう考え、どのように進めてゆくべきかなどについて、町振興開発調査会（会長 坂口不二郎氏 委員四人）で検討し、その結果をもとに、このほど県に意見、要望を出すことにしました。以下は、そのあらましです。

調査会での討議

○大隅地域全体の振興発展をはかる上で、現在の農林水産業だけではむづかしい、過疎現象にブレーキをかけ、人口の定着、所得の向上をはかるには工業の導入が必要だということでは殆んど意見が一致した。しかし一方では、とくに現在の農業をとりまく問題について、農産物価格の安定保証及び流通、農用地の確保規模拡大がむづかしい、指導奨励に一貫性がないなど、農政に対する不満の声が多く、抜本的な施策と国県の投資の拡大を望む意見が強く出ました。それで地域開発にあたっては工業開発とともに「食糧供給基地づくり」の施策をより一層強くおしすすめるべきだという意見が多かった。

○志布志湾沿岸の臨海工業開発には、国定公園の一部解除を伴うことについて慎重にすべきだという意見が一部あったほか、大根占町は直接の関

行なわれた場合、大根占町への波及効果について、あまり期待できないのではな

いかにという意見が多

く、このため、町内への工業導入や、通勤に便利な鹿屋周辺など、近くへの企業

の立地が望ましい。鹿屋、志布志に通ずる道路や、これにつながる町内の道路の整備を急ぐべきだ。将来を考えると農業のあり方を近郊農業的なものにするなどの対応が必要だというよう意見が多かった。また、町内への工業導入に必要な土地確保のため町内の海

町の場合

岸埋立について調査検討したらどうかという意見もありました。

○大根占町の将来を考えた場合、台地の開発が必要で、そのために水の開発利用をすすめるべきだという意見が強く

出ました。

の農業振興のため水の開発利用をすすめる必要がある。

○農道、林道など生産基盤の整備のため、県営事業の実施補助の拡大などをはかる。

○内陸工業の南大隅地域や、鹿屋市周辺への立地を促進する。また関連して厚生施設やレクリエーション施設の誘致をはかる。

開発に対する要望

○町の立地条件から考えて産業の主体は、やはり農業であり、食糧供給基地づくりの施策が強力に推進されるべきであり、水田が少ないので台地

の農業振興のため水の開発利用をすすめる必要がある。

○農道、林道など生産基盤の整備のため、県営事業の実施補助の拡大などをはかる。

○内陸工業の南大隅地域や、鹿屋市周辺への立地を促進する。また関連して厚生施設やレクリエーション施設の誘致をはかる。

簡単だから恐ろしい？

ガスコンロ

コックをひねれば火のつく便利なガスコンロも、いったん消し忘れたら大変。取り扱いが簡単であればあるほど注意がうすれ、それだけ恐ろしい火災やガス爆発の危険を秘めているのです。

電話のベル、来客、子どもの相手など「ちょっとだから大丈夫」という軽い気持ちで、消し忘れにつながります。ガスコンロを使っているときは、その場をはなれない。また、月に一度はガスバーナーなどの掃除、ゴム管などの点検を怠らず行なうことが肝心です。

ポイント

- (1)使用中はときどき換気をする。
- (2)コンロのまわりや上部は、不燃材（石膏ボードなど）でおおい、燃えにくくする。
- (3)器具のまわりや上部にふきんなど燃えやすいものは置かない。
- (4)ひび割れしたり、溶けてべとつくゴム管は、すぐ取り替える。（石けん水をつけるとゴム管のひび割れはすぐわかります。）

公民館だより

寸劇などで賑わう

本年度の文化月間の最後を飾る第六回町青年団文化祭は、去る十一月十七日大根占小屋体約三〇〇名の熱心な町民を集めて行なわれました。

同祭は、過去数々の実績を収めています。本年度は出し物五つの寸劇を加え、意見発表にも郷土を守る若者の意気を感じられ、観る

町青年団文化祭

者を感動させました。また、この文化祭には去る十月上旬に産声をあげた山ノ口青年団も参加、名実共に大根占町の若者の祭典としてふさわしいものとなりました。

意見発表者次のとおり

河野 謙「夜 警」

今限久美子「私たちはみな初心者」

福元 光吉「私の生きがい」

笹原 次範「私の希望」

城之下哲郎「青年として」

だんぜん強し!!

宿利原青年団

町内一周駅伝

恒例の町内一周駅伝大会は、新コース三年目を迎え、去る十一月三日（土）中学の部八、一般の部七、オリブナーの計十六チーム参加のもとに、二十二・七キロ十区間のコースで行なわれました。結果は、一般の部宿利原

成績次のとおり。

一般の部
優勝宿利原青年団（1・16・29）
二位池田青年団（1・17・38）
三位城元青年団（1・21・38）
中学の部
優勝宿利原中学校（1・16・84）
二位大根占中A（1・20・46）
三位池田中A（1・20・46）



行事予定

- 12月21日・農業委員会（於議場）
- 12月24日・定例町議会
- 12月28日・行政納め
- 1月2日・成人式（於大小屋体・午前十時開式）
- 1月4日・親子たこあげ大会（於各校区中学校）
- 行政始め
- 1月6日・消防出初式
- 1月15日・町ノーカーデー歩こう大会

お知らせ

慶祝電報は

早目に

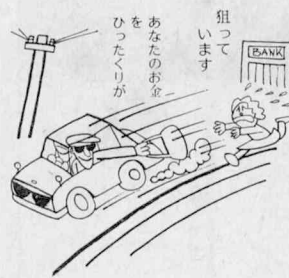
大安日の結婚式や成人式、卒業、入学式などにお祝いの電報を発信される方が最近増えていきます。
このため電報電話局の「一五」(託送受付)は、当日は大変混み合います。

列車乗車券

できるだけ駅で

役場では、列車乗車券の予約あつせんをいたしておりますが、年末年始は列車の利用者が多いことから、駅としても役場の申し込みに対して、いつものように応じてくれません。

役場では、従来どおり受け付けはいたしますが、このような事情からみなさんの希望どおりの乗車券は手にはいりません。
従って、できるだけこの時期は直接駅で購入されるようお勧めします。



を選びましょう。

警察ではみなさんの安全を守るため、年末年始特別警戒中です。不幸にして事件事故が起ったときは現場はそのまましてすぐ一一〇番しましょう。
一一〇番はみなさんと警察の心の通うパイプです。

相撲部優勝

鹿屋大会



優勝した面々

さる十一月二十四日鹿屋市で開催された護国神社奉賛鹿屋相撲大会で、町相撲部が町村対抗の部に優勝しました。やはり当初の予想どおり決勝は垂水市と対戦しましたが三対〇と圧勝、その実力を遺憾なく発揮しました。
出場者は次のとおり
迫栄、落司順一、谷口仁

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

歳末助け合い
運動にご協力
ください

善意

の話題

町社協へ

(カッコ内は故人)
山元繁徳(隆) 麓
坪内ミネ(森助) 神二区
前村貞雄(トシ子) 大橋下
徳永民郎(森次郎) 鳥浜
中馬彦吉(ツルマツ) 大尾
里瀬ヒロ子(道夫) 木原

錦江園へ

栄町の上川路照雄さんから 菓子
鳥浜の今隈スミエさんから ヤマイモ
神之浜二区の出城金蔵さんから ミカン
山之口の川越二郎さんから 大相撲の招待券
▼老人憩の家(公民館内)
大久保の真戸原光夫さんから テレビ
なんぐう農協大根占支所から テレビアンテナ